

# 岐阜大学工業倶楽部関東支部

本会は会員相互の親睦・交流を図るとともに情報交換、技術交流を推進し母校の隆盛と工業の発展に寄与することを目的とします。

ニュースレター NO.1 2009年3月発行

## 第2回総会 2009年6月7日 開催

詳細は10ページをご覧ください。是非参加をお願い致します。

2008年6月8日岐阜大学工業倶楽部関東支部は設立されました。設立総会、その後の関東支部の活動についてお伝えします。

### 目次

1. 設立総会	1
・ 設立までの経緯	2
・ 規約	3
・ 役員構成	4
・ 小塚支部長挨拶	5
・ 森学長記念講演	6
・ 磯貝会長記念講演	6
・ 若井工学部長記念講演	7
2. 各委員会の活動	8
3. ニュース	9
・ ITフェア	9
・ 見学会	9
・ 第2回 総会	10
4. 寄付のお願い	10
5. 写真集	11
6. 設立準備・設立総会関係会計報告	12
7. 編集後記	13

# 設立総会

2008年6月8日、学士会館において設立総会、記念講演会、懇親会が開かれ関東支部が正式に発足しました。

当日までの会員登録は179名で、総会には104名の方々が出席されました。

## • 関東支部会員の構成と会員数

- ・会員:岐阜大学工学部、大学院工学研究科、岐阜大学工業短期大学およびその前身学校の出身で、関東地区(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県)に在住または勤務されているか、その経験のある方およびこの地域で事業を営む方。なお、関東地区以外に勤務、在住する入会希望者も歓迎しますので、ご連絡下さい。
- ・会員構成の特徴:設立間もないことから工業倶楽部の支援を得ながら、Eメールや口コミなどで会員加入を呼びかけたこともあって、1980年代までの卒業者が多いですが、今後は組織的な活動で直近の卒業者も含めた幅広い会員構成を目指します。

## • 関東支部への加入のお願い

- ・関東支部の会員相互の交流を通じて自らを向上させ、母校の岐阜大学工学部の発展に一層貢献するために、お知り合い、友人等に支部へのご加入のご紹介をお願いします。
- ・加入手続き:ご連絡先の登録と年会費(2,000円)の納入
  - \* 年度切り替え:毎年6月1日
- ・申込先:下記の連絡・問い合わせ先または支部ホームページから

[gtk-jimu@gifu-t-kanto.com](mailto:gtk-jimu@gifu-t-kanto.com)

<http://gifu-t-kanto.com/contactus.aspx>

## 設立までの経緯

日時	内容
2007.10. 6	岐阜大学工業倶楽部常任理事会で支部の設立を推進する旨が決定されました
2007.11. 6	納土伸男氏からの呼びかけで第一回設立準備会が新日鉄代々木倶楽部で開催され有志17名が出席しました 工業倶楽部の檜和田専務理事ならびに西濃支部三輪事務局長も出席され、関東支部設立の必要性が発議されました
2008. 1.19	第二回設立準備会を新日鉄代々木倶楽部で開き、関東支部設立準備会事務局を立ち上げるとともに、会則案を作成、設立準備会の会長、事務局長、各委員会委員及び委員長を選任しました  また、設立総会を6月8日に神田の学士会館で開催することが決まりました
2008. 2.16	第三回設立準備会が九段の宮崎会館で開催され、関東支部規約案、役員案などがほぼ出来上がりました
2008. 3.15	第四回設立準備会を学士会館で開き、総会の準備が本格化しました 工業倶楽部の檜和田専務理事ならびに西濃支部三輪事務局長も出席されました  卒業生へのEメールによる呼びかけにも限界があることから、さらに往復はがきなどによる参加呼びかけを行うことになりました また、この日に関東支部設立準備会のホームページが立ち上がりました
2008. 4.26	臨時担当者連絡会議がみやざき情報館で開かれ、総会の準備と参加者100名を目標に会員の募集に総力を注ぐことになりました
2008. 5.17	第五回設立準備会を宮崎会館で開き、総会に向けての最後の詰めを行いました
2008. 6. 8	森岐阜大学学長、磯貝工業倶楽部会長、若井工学部長を迎え、神田の学士会館で岐阜大学工業倶楽部関東支部設立総会が開催され、ここに工業倶楽部関東支部が正式に発足しました

# 規約

## 第1条(名称及び事務所)

本会は岐阜大学工業倶楽部規約第14条に基づき設置するもので、岐阜大学工業倶楽部関東支部(略称:岐阜T関東)と称する。

連絡事務所は事務局長の責任で設置出来る。

## 第2条(会員)

本会は次の会員で組織する。

正会員:岐阜大学工学部、大学院工学研究科、岐阜大学工業短期大学およびその前身学校の出身であって、関東地区(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県)に在住または勤務しているか、その経験のあるもの及びこの地域で事業を営むものとする。

なお、関東地区以外に勤務、在住する入会希望者は、役員会の承認を経て正会員に加えるものとする。

特別会員:母校の元教員で、関東地区に在住するもの。

賛助会員:本会の目的、行事に賛同する個人または法人で役員会の承認を経たもの。

## 第3条(目的)

本会は会員相互の親睦・交流を図るとともに情報交換、技術交流を推進し母校の隆盛と工業の発展に寄与することを目的とする。

## 第4条(行事)

第3条の目的を達成するために次の行事を行う。

1. 総会の開催
2. 講演会、見学会、懇親行事の開催
3. 会報の発行
4. 会員情報の収集と管理
5. 岐阜大学工業倶楽部本部事業への協力と提案
6. その他必要なこと

## 第5条(役員)

本会は支部長1名、副支部長1名、幹事若干名、会計1名、会計監査2名、事務局長1名及び副事務局長1名の役員を置き、会務を処理する。

なお、役員会の承認を経れば役員の兼任は妨げないものとする。

## 第6条(役員の任務)

支部長は本会を代表し、本会の会務を統括する。

副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるときはこれに代わる。

幹事は支部長を補佐し、会務を分掌する。詳細は別に定める。

会計は本会の会計を分掌する。

会計監査は本会の経理を監査する。

事務局長は本会の会務事務を統括する。

副事務局長は事務局長を補佐し、事務局長に事故あるときはこれに代わる。

## 第7条(役員の選出と任期)

役員は役員会で選考し、総会に推薦の上、承認を得る。

役員の任期は2年とし再任は妨げない。

## 第8条(会議)

総会:毎年1回開催する。支部長が議長を務め、事務局長は前年度の事業報告、会計報告と新年度の事業計画、予算その他重要事項を報告し、承認を受ける。

総会の議決は過半数の賛成を以って決定する。

役員会:支部長、副支部長、幹事、事務局長、副事務局長、会計及び会計監査で構成し、事務局長が議長を務める。規約の改定など重要事項を審議する。

## 第9条(会計及び事業年度)

本会の年度は毎年6月1日に始まり、翌年の5月31日に終る。

## 第10条(会費)

本会の経費は年会費、本部交付金、行事開催時に徴収する臨時会費、賛助会員入会金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。会費の額は役員会で決定するものとし、会員は遅滞無くこれを納入するものとする。

## 第11条(規約の改廃)

本規約の改廃は、事務局長が総会に諮り、出席者の過半数の賛成により決定する。

## 第12条(補則)

1. 本規約に定めなき事項については、役員会において決定する。
2. 本規約は平成20年6月8日の設立総会にて承認後発効する。

# 役員構成

役名	氏名	卒業学科・年度	備考
支部長	小塚 忠	機械 1947	
事務局長	安原 克己	土木 1964	
幹事	間瀬 和久	機械 1953	支部長補佐
	納土 伸男	機械 1962	支部長補佐
	浅野 弘	機械 1962	会務分掌
	木村 信幸	機械 1963	会務分掌
	葛西 成治	繊維 1965	会務分掌
	青木 克之	電気 1966	会務分掌
	堀尾 義矩	工化 1962	
会計	堀尾 義矩	工化 1962	
監査役	福田 研一	土木 1965	
副監査役	田中 堯	土木 1966	

## 小塚支部長挨拶

昨年11月、岐阜大学工業倶楽部本部の要請を受け、檜和田専務理事、三輪西濃支部事務局長にご出席いただいて開かれた、関東支部設立準備会は、機械科中心の僅か数名で発足いたしました。その時は、卒業後長らく、まとまった同窓会もなかった人達が、果たして集っていただけるかどうか不安でした。

幸いにもその後全科からの参加を得、本部の物心両面のご支援と、何よりも事務局長以下20名を超える準備委員の皆様の、度重なる会合と献身的なご努力により、設立することが出来ました。支部加入者は150名を超え、総会参加者も100名近くに達しました。改めて準備委員の皆様におを礼申し上げます。

すでに工業倶楽部会報等でもご承知のとおり、日本の国立大学も法人化され、地域との密着、企業との協働等自助努力なくしては、発展は望めなくなってきました。

また我々関東在住(在勤)卒業生も、政治経済の中心に居ながら、岐阜から幾分離れていることもあって、大学及び同窓生との交流も少なくなっていました。関東在住岐阜大学卒業生は2500人にも達しているにもかかわらず、お互いの情報交換すら殆どありませんでした。大学を交えた相互交流が進めば、大学、卒業生のいずれにとっても、大きな力になりうることを期待されます。

準備会活動を続けてきた結果、準備委員相互の理解と信頼が格段に向上したことを、我々準備委員は肌で感じとってきました。インターネットでの連絡、意見交換等も、有効であることも改めて自覚しました。先ず皆さんが集まる機会、交信する機会を増やすことが第一だと思います。その上で、卒業生同士、先生方、在学生との情報交換、話し合い、交流の場が増えれば、次に何をなすべきかも見えてきて、自ずと未来も広がって来ることでしょう。

総会を機に、先ず親睦を深め、大学と我々自身の現在、未来を語り合い、母校の発展に寄与すると共に、色々な行事を企画し、我々自身の交流と向上を図ってゆきたいと考えています。これからより多くの人に参加を呼びかけ、お互いに力を合わせて、心豊かな人生を切り開いてゆく一助にしたいと考えています。今後ともご協力をお願いいたします。

# 森学長記念講演 岐阜大学の今

主な内容は以下の通りです。(同封のCDに発表資料を添付します)

- ・岐阜大学・岐阜薬科大学連合大学院の設置
- ・岐阜大学の位置づけ(ブランド力等)
- ・<研究センター>
  - 流域圏科学研究センター
  - 生命科学総合研究支援センター
  - <プロジェクト型センター>
  - 人獣感染防御研究センター
  - 先端創薬研究センター
  - 金型創成技術研究センター
  - 未来型太陽光発電システム研究センター
- ・<岐阜大学工学部の国際活動>
  - 1) 東ティモール大学工学部支援プロジェクト(JICA) (平成15年より)
  - 2) 全南大学校工科大学(韓国)・岐阜大学工学部交流セミナー (平成14年より)
  - 3) トルコ工業高校マネジメント研修(平成16年より)
  - 4) 日本・ブラジル国際ワークショップ(平成15年)
  - 5) 大学間学術交流協定大学リエゾン(13名)  
カンピーナス大学、浙江大学、電子科技大学、ソール産業大学、ユタ大学、ウエストバージニア大学、アバディダンディ大学、パンノン大学、アンダラス大学、吉林大 学、華僑大学、同済大学、シバジ大学
- ・岐阜大学基金の創設  
地域の発展に寄与する人材養成と研究成果の提供を通し「知の伝承と創造」を追究するために、継続的な「岐阜大基金」を創設

## 磯貝工業倶楽部会長 記念講演

### 工業倶楽部の活動状況

主な内容は以下の通りです。

- ・地域社会への働きかけに注力
- ・会報を年一回3月に発行 名簿も管理し発行
- ・産官学融合センター設立に伴い連携に努める
- ・工学部の活動支援 研究センター設立支援
- ・テクノフェア等に助成金
- ・支部設置を予算化

# 若井工学部長記念講演

## 最近の工学部の教育・研究について

主な内容は以下の通りです。(同封のCDに発表資料を添付します)

### ・岐阜大学工学部のあゆみ

- 1942 12月 岐阜県立高等工業学校設置(羽島郡笠松町) 機械工学科、応用化学科の二科設置
- 1943 2月 化学工業科および紡織科の二科増設
- 1947 2月 岐阜工業専門学校と改称 5月 土木科増設
- 1949 2月 岐阜医工科大学の設置により工学部と改称
- 1950 4月 岐阜県立大学工学部と改称
- 1952 4月 国立に移管され岐阜大学工学部となる
- 1954 9月 工学部新校舎(稲葉群那加町)に移転
- 1961 4月 電気工学科増設
- 1963 4月 精密工学科増設
- 1965 4月 電気工学専攻科増設
- 1967 4月 工学研究科(修士課程)設置
- 1968 4月 合成化学科設置
- 1972 4月 電子工学科設置
- 1981 4月 建設工学科増設、9月 工学部新校舎原キャンパスに移転
- 1987 4月 工学部改組(土木、機械、応化、電子情報の4大学科に統合)
- 1991 10月 工学研究科博士前期課程4専攻、後期課程3専攻(生産開発システム工学、物質工学、電子情報システム工学)
- 1997 4月 生命工学科、応用情報学科新設(6学科)
- 1999 4月 工学研究科に環境エネルギーシステム専攻(独立専攻)を増設
- 2002 4月 工学部改組(現在と同じの9学科に再編成)
- 2004 4月 国立大学法人移行

現在に至る

・学部学生数の変遷 現在5190名 工学部2180名

・学生数(工学研究科)の変遷 現在631名

・各学科紹介

社会基盤工学科:人間の生命・生活を支える基幹的な工学

機械システム工学科:豊かな文化生活を支えるための、ものづくり新技術を創造する、学究の場

応用化学科:地球環境から身の回りまでのあらゆる材料・製品に関する科学技術を分子レベルから学ぶ

電気電子工学科:車は電子化が進む ハイブリッド車、電気自動車

生命工学科:生体機能を解析し、新しいバイオ技術の開発など、その機能を工学的に応用する

応用情報学科:最先端のコンピュータ技術を発展させ、応用していくための教育と研究開発を行う

機能材料工学科:ナノ～マクロな視点から、環境との調和を重視した新しい機能材料の創成を目指す

人間情報システム工学科:豊かな社会とクリーンな環境を支える機械情報システムを創造する学究の場 GifuHandⅢ

数理デザイン工学科:数理的思考・手段を身につけた独創的な人材を養成する教育・研究の場



# 各委員会の活動

- **会報編集委員会**

- ◇会報発行、ホームページの開設と運営管理……関東支部活動の状況を全会員へお知らせし、支部に一層の関心を持ってもらう意味で、紙による支部会報を発行。
  - ・会員のみならず、岐阜大学関係者や広く世間にも関心を持ってもらう意味で、支部の日々の活動状況や関東支部に関わる情報を適宜流すためにホームページを'08年6月に開設し、適宜メンテナンスして新しい情報を流しています。
- 関東支部ホームページのURL: <http://gifu-t-kanto.com> 皆さんもぜひお訪ねください。

- **行事委員会**

- ◇見学会、懇親会など各種行事……講演会、懇親会、見学会実施
- ・講演会、懇親会:2008年6月に学士会館で設立総会に合わせて開催しました。
- ・見学会:2008年10月に(株)日立プラントテクノロジー研究所を訪れ、ショールームや研究施設を見学しました。
- ・支部行事に関する会員アンケートでは、講演会・研修会、見学会の希望が多く、懇親会や趣味(登山・ハイキング、ゴルフなど)も多く見受けられ、今後検討していきたいと思えます。

- **財務委員会**

- ◇予算確保、会費徴収管理……発足したばかりの関東支部、支部挙げて組織の拡充に取り組んでいますが、ここしばらくは財政的にも厳しい状況。
  - この様ななか、今年度、財務委員会では
  - 1)限られた予算の重点的再配分と内部留保の充実…組織拡充予算の増額等
  - 2)予算の適正使用監査…監査役・副監査役が会計立会いのもと定期的に内容監査に取り組んでいます。
- 今後とも会員の皆様のご協力をお願いいたします。

- **総務委員会**

- ◇関東支部運営に関わる活動
- ・支部年間活動計画の全体進捗
- ・支部組織の拡大活動とりまとめ
- ・支部総会開催に関する全体進捗

- **名簿管理委員会**

- ◇会員拡大活動……出身学科ごとの委員構成で推進
- ・関東支部の発展のために欠かせない活動と位置づけ、工業倶楽部の協力も得て会員有資格者の名簿(極力Eメールアドレスを含む)の取得管理を行っています。
- ・その名簿に基づき、メール、ハガキ、ホームページ、口コミなど様々な方法で、関東支部の意義をPRし、勧誘の呼びかけをしています。

(委員会表示順はアイウエオ順)

# ニュース

## • 岐阜大学工学部ITフェア

2008年11月3日、4日に行われ支部長の講演がありました。(同封のCDに発表資料を添付します)

### ◆NHKプロジェクトX放送「ゼロから出発し、世界一を目指した、私の技術者人生」(講師:小塚 忠、工学部OB)

終戦時16歳で海軍兵学校に在籍し、原爆のきのこ雲と広島を目撃、人生の目標も、生きる場も失って、戦災で全焼した我が家に帰った私にとって、戦後の人生はゼロからの出発でした。日本の科学技術の遅れを痛感し、科学技術者になろうとして入ったのが岐阜工専でした。世界に通用する新製品を開発したいとの願望で、8社を転々として技術の武者修行に身を投じ、無我夢中で挑戦し、学び、試み、失敗と成功を繰り返して、最後に入ったJUKI(株)で工業用ミシンを世界一に育て上げる事が出来た、私の裸の人生をお話したいと思います。技術の物語ではなく、技術を生み出す人の生き様、考え方を、体験を基にしてお話します。

## • 見学会

関東支部支部が発足後、初めての見学会を開催しました。

- ◆ 期 日:2008年10月31日(金) 13時30分～16時
- ◆ 見学先: (株)日立プラントテクノロジー (千葉県松戸市) ショールームおよび研究所
- ◆ 参加者: 12名  
内訳 :土木系 2名、機械系 4名、工化系 4名、  
繊維系 1名、電気系 1名

見学は空調、社会インフラ、産業プラントの各システムおよびメカトロニクスに関する展示品と研究設備を案内して頂きました。

見学中活発な質疑も行え、有意義な会になったと思います。

見学会終了後は近くの会場で懇親会を開催  
親交を深めるとともに関東支部を話題に予想以上に盛り上がり、  
予定時間を大分超過しましたが色々な情報交換も行え、大変楽しい会となりました。

今年は、より大勢の方が参加頂ける行事にしたいと考えておりますので  
会員の皆様のご意見、ご希望をお寄せ頂きたくよろしくお願い致します。

## 第2回総会、講演会、懇親会のご案内

関東支部の第2回定期総会を下記により開催します。同時に講演会と懇親会を行いますので、多数のご参加をお願いします。

- ・日時:2009年6月7日(日) 13:00~17:00
- ・場所:「喜山倶楽部」の予定  
(地下鉄神保町駅下車徒歩数分の日本教育会館9階)
- ・ゲスト:岐阜大学 元学長 加藤 晃岐阜大学名誉教授
- ・講演者:イビデン(株)代表取締役会長 岩田 義文氏  
(1962年 岐阜大学 工業化学科卒)
- ・出席申込、会費等詳細は下記お問い合わせ先まで。

<http://gifu-t-kanto.com/contactus.aspx>

### 寄付のお願い

関東支部の今後のさまざまな活動を支えていくために、基金の充実が緊要であることはいうまでもありません。現在、岐阜大学工業倶楽部の支援金と会員の会費のみで運営されています。寄付に関して役員会で細則を検討中です。決まり次第ホームページに掲載しますので一層のご支援をお願い致します。ご意見等ありましたら以下よりお願い致します。

[gtk-jimu@gifu-t-kanto.com](mailto:gtk-jimu@gifu-t-kanto.com)

<http://gifu-t-kanto.com/contactus.aspx>

# 写真集



森学長講演



懇親会風景



一堂に集った総会参加者

2008年6月 設立総会



小塚支部長



2008年11月 岐大テクノエアでの講演会で



2008年10月 見学会風景

## 岐阜大学工業倶楽部関東支部

### 設立準備・設立総会関係 会計報告

#### I. 会計報告

##### 1. 岐阜大学工業倶楽部関東支部設立準備関係決算(07.11.06～08.06.08)

###### 1) 収入の部

費 目	金額(千円)	摘 要
本部より「支部設立準備金」	100	08.01受領
支部設立準備委員より「寄付」	28	07.11.06受領、通帳開設時預金100円を含む
合 計	128	

###### 2) 支出の部

費 目	金額(千円)	摘 要
支部設立準備委員会活動費 ※1		
内訳 役員会・会場費	53	1月～5月 役員会5回開催
出張旅費	31	支部長・事務局長本部出張他
雑費	15	送金手数料、ゴム印、インク代等
設立総会への補填	29	
合 計	128	

※1 支部設立準備委員会開催時、会場費のみ支払い、委員の交通費は支払わず(自弁)。

##### 2. 関東支部設立(第1回)総会費用決算(08.06.08開催、於:学士会館、会員参加者106名・来賓5名)

###### 1) 収入の部

費 目	人数(人)	単価(円)	金額(千円)	摘 要
総会懇親会会費	106	6,000	636	
補填1			100	本部より(08.06.04受領)
補填2			29	設立準備会計より(08.06.08受領)
補填3			48	関東支部08年度年間予算より ※2
合 計			813	

※2 08.06.08総会でご承認を得た関東支部2008年度予算の設立総会費用補填84千円との差額36千円は関東支部会員増を目指した組織拡充活動費の一部として活用させていただきます。

###### 2) 支出の部

費 目	品 目	金額(千円)	摘 要
総会等会場費	学士会館室料等	157	予算:166千円
懇親会飲食費	オードブル・飲料等	505	予算:479千円
その他費用	案内状、総会資料、雑費等	90	往復葉書、手渡し資料等、予算:173千円
	来賓車代・手数料	61	30千円×2人、予算計上せず
合 計		813	予算105名:818千円(車代含まず)

※総会決算に間に合わなかった未処理金2.5千円あり、追って年度経費で処理する。

岐阜大学工業倶楽部関東支部設立準備関係決算(07.11.06～08.06.08)および関東支部設立(第1回)総会費用決算(会員参加者106名)につき以上のとおり報告いたします。

2008年7月6日

岐阜大学工業倶楽部関東支部

会計 堀尾 義矩 印

#### II. 監査報告

上記の ① 岐阜大学工業倶楽部関東支部設立準備関係決算(07.11.06～08.06.08)

② 岐阜大学工業倶楽部関東支部設立(第1回)総会費用決算(会員参加者106名)

の内容につき帳簿、領収書等を監査した結果、平成20年7月5日開催の合同役員会で承認された通り収支内容につき明確に、適正に処理されていると認めましたので、報告いたします。

2008年7月31日

岐阜大学工業倶楽部関東支部

監査役 福田 研一 印

副監査役 田中 堯 印

## 編集後記

ニュースレターNo.1はようやく発行にこぎつけました。設立総会に出席されなかった方は、添付のCDの写真をご覧頂ければと思います。関西支部立ち上げの計画もあり大学と工業倶楽部、関係部会、支部が以前に増して連携を密にし活動することが求められると思います。

関東支部設立後2年目を迎えいよいよ本格的な活動が期待されるところです。産学官連携活動については、他大学の例もあるように卒業生各位と大学との連携のお手伝いが出来ればと思います。

卒業生・修了生および教職員相互の交流、親睦を深めるだけでなくそれらを社会において役立つものとするための活動を支援していくことが求められると思います。

また、ホームページについては、会員と事務局との双方向の連絡が出来るようにしていきたいと考えています。どうぞ気軽にアクセスして、ご意見、ご提案などをお寄せください。

---

2009年3月発行

発行：岐阜大学工業倶楽部関東支部

Email: [gtk-jimu@gifu-t-kanto.com](mailto:gtk-jimu@gifu-t-kanto.com)

ホームページ: <http://gifu-t-kanto.com/>

編集：岐阜大学工業倶楽部関東支部  
会報編集委員会

編集長 野田和生